

つなぐ



茨城キリスト教学園
ニュースレター

vol.14

2026
JANUARY

第14号

茨城キリスト教大学大学院/茨城キリスト教学園
茨城キリスト教学園高等学校/茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教学園附属認定こども園(みらい園・せいじ園)

発行日 2026.01.27.TUE
編集・発行:法人事務局学園広報

バツクナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます →



こども園が!
中高が!
大学が!
学園が!
**彩やかな
クリスマス!**

クリスマスと 探究活動の 意外な関係

初めて開催されたクリスマスマーケット。
実は高校の探究活動から生まれたんです。
今回は、スゴイことになっている
イバキリの「探究の時間」にフォーカス
します!





HOT TOPICS

中学校

クリスマス礼拝

中学校でクリスマス礼拝が行われました。昨年度から新しく始まった形式で、今年も前半はイエス様誕生の様子を演じるペーパー（降誕劇）がありました。そして後半には日本基督教団六ツ川教会牧師の桐藤薰先生から「歌のないところで」というテーマでメッセージをいただきました。多くの生徒の活躍と神さまの導きにより恵み豊かな礼拝の時となりました。



ホットトピックスでは学園や各設置校のイベント活動を紹介しています。



大学 地元の食材を使用した新商品が完成! -水産加工業との産学連携プロジェクト-

食物健康科学科では、学生主体の産学連携活動として株式会社飛勘水産（日立市）と商品開発に取り組んでおります。授業や実習で培った知識と技能を生かし、地域資源の活用を目的として完成した「さばてりっ！バーガー」は、12月に同社店舗にて提供されました。



記事はこちる



高等学校 探究から生まれた「はしごあんこ」

高校で行っている探究活動。あるグループが干し芋の残渣から作った「はしごあんこ」は、活動を通して出会った栃木県のあんこ屋さんと一緒に開発した商品です。学園祭に続いてクリスマスマーケットでも販売し、おかげさまで完売しました。この活動を通じてフードロス削減への関心が少しでも広がることを願っています。



学園 アンネのバラに 冬のお手入れを行いました。

春、バラが見事に花を咲かせるのは、バラの休眠期である冬の手入れ次第と言われています。最低気温が氷点下となった寒さの中、地域ボランティアのみなさんと

学生・教職員の合計22名が仮剪定と元肥を施す作業を行いました。当日は、未来教養学環の学生もはじめて作業に参加しました。学園のアンネのバラは、正門前をはじめとして、60株以上が植えられています。開花は例年ゴールデン・ウイーク頃になります。今年も見事な花が咲くことをご期待ください。



記事はこちる



こども園 せいじ園・みらい園で クリスマス会を行いました

こども園では、創立当初からイエス様のお誕生をお祝いするクリスマス礼拝・祝会を行っています。第1部礼拝では、年長組が難しい聖書の言葉を覚えて降誕劇を行います。第2部祝会は、3歳児以上が劇や歌などを歌ってお祝いの会をします。クリスマス礼拝・祝会当日は、大きな神様の愛の中で保護者や保育者に見守られ温かく楽しい一日を過ごしました。



イバキリ高校の「探究の時間」がスゴイことになってます！

自ら課題を発見し、キャンパスから地域に出て、解決策を探り、形にする。

思わぬ商品が誕生したり、イベントが実現したり、年末に初めて開催された「クリスマスマーケット」も実は高校生の探究活動から生まれたものでした。「探求」は大学の未来教養学環を中心とした「体験型学習」と呼応するもので、これから学園全体の学びの核になっていきます。

クリスマス、高校女子駅伝の活躍、そして高校国語科の菅野先生が「歌会始の儀」に選出されるなど、盛りだくさんの年末年始をご紹介しました。

(2026/01/27)

